

大規模林野火災対応訓練を実施

森町消防本部

当消防本部では、管内で発生した大規模災害を想定し、10月18日に大規模林野火災対応訓練を実施しました。この訓練は、平成30年度「災害時における必要な用水等の供給に関する協定」を締結した生コンクリート協同組合並びに各関係機関と合同で、資機材や消防用水の供給等の総合的な訓練を実施し、連携強化が図られました。



模擬刑事裁判を実施

郡山地方広域消防組合消防本部

9月27日（金）、火災調査技術の向上を目的に模擬裁判を実施しました。

模擬裁判では、職員が作成した火災調査書が刑事裁判に証拠として提出され、さらに作成した職員も証人として出廷するとの想定で行われました。

実際の裁判の流れに沿った形で、裁判官や検察、弁護士などを職員が演じ、また聴講者は裁判員となり、各班に分かれて評議し、判決を言い渡すまでを行いました。

今回の研修を通して、火災調査権を有する消防の責務を再認識するとともに、調査技術を向上させるための探求心の醸成を図りました。



消防通信 望楼 ぼうろう

「令和元年度社会福祉施設防火安全講習会」を開催

朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部

埼玉県南西部消防本部では、9月26日（木）、高齢者が入居する福祉施設の関係者を対象に夜間帯の防火安全対策の徹底、消防用設備等の把握及び火災発生時の行動要領の習得を目的とした講習会を開催しました。

火災事例や火災発生時の初動対応、防災品についての座学のほか、水消火器を使用した消火訓練、屋内消火栓設備の取扱い説明、スプリンクラー設備の放水見学、煙・地震体験、心肺蘇生法訓練等の実技を行いました。



仮想現実（VR）を活用した防災学習の実施

熊本市消防局

熊本市消防局では、熊本地震を忘れない取り組みとして、仮想現実（VR）を活用した体験型の防災学習を実施するため、VR機材を20台導入しました。

当市教育委員会と連携した取り組みとして、市内約21校・1700人の児童に防災学習を実施し、将来の地域防災リーダーの育成と熊本市民の災害対応力の向上を目指しています。



VRを活用した防災学習の様子